

2009年10月29日

報道機関各位

**株式会社ミガロ、IBM i 完全対応の Web アプリケーション開発ツール「JC/400 V2010」を発表！
“Word・Excel・CSV 出力”を可能にする機能を備えた新バージョン**

<http://www.migaro.co.jp/>

株式会社ミガロ(所在地:大阪市浪速区、代表取締役社長:上甲 将隆)は、Web アプリケーションの開発を IBM i の RPG や COBOL 等の既存スキルだけで可能にする Web アプリケーション開発ツール「JC/400 (ジェーシーオンヒャク)」の新バージョン「JC/400 V2010」を、2009年10月に発売します。

JC/400 V2010 ではファイル出力機能を新しく標準機能としてサポートし、Word・Excel などの Office ファイルの出力や、CSV ファイルのダウンロードなどが可能になります。JC/400 の特色である「RPG や COBOL 等の既存スキルの活用(※1)」「シンプルな開発手順(※2)」をそのままに、この機能を組み込む際に、新たなスキル・言語は必要ありません。

今後、IBM i を DB とした Web アプリケーションを開発する全てのお客様に対し、ツールの選択肢としての幅が大きく広がります。

※1 JC/400 は、RPG や COBOL 等の既存のスキルだけで Web アプリケーションの開発を可能にします。既にあるロジック等の流用も可能です。

※2 RPG や COBOL プログラマーがイメージしやすい開発手順で Web アプリケーションの開発を可能にします。以下の「**■開発者に嬉しいシンプルな開発手順**」をご参照ください。

今回発表する「JC/400 V2010」の詳細は次の通りです。

■V2010 の新機能と活用シーン

Web アプリケーションを RPG や COBOL 等の既存スキルのみで開発できることをご好評いただいている Web アプリケーション開発ツール「JC/400」に、兼ねてよりお客様からのご要望が強かった Word・Excel・CSV 出力機能が備わりました。

IBM i 上に自由にデザインした Excel・Word ファイルを予め配置し、ユーザーの動作に応じて IBM i のデータを取り入れた形で出力することが可能です。

この機能を利用することにより、オリジナル規格の見積書や注文書などであっても、現在使用しているデザインのまま、Web アプリケーションで使用することが可能です。もちろん、Web アプリケーションとして実現するため、離れた拠点間でバージョン違いが発生するというトラブルや、元になるファイルを拠点間に配布する等の無駄な作業も発生しません。

CSV ダウンロード機能については、クライアント環境での簡単なデータ参照から、外部アプリケーションとの連携など、使用用途は多岐に渡ります。

「JC/400 V2010」は、これらの出力機能に加え、最新ブラウザである Internet Explorer 8 をサポートし、より高速な Web 画面の表示が可能になりました。

弊社メンテナンスプログラムをご契約のお客様は、無償で最新バージョンにアップが可能です。

■「簡単・自由・低コスト」

JC/400 は「簡単・自由・低コスト」で Web アプリケーションを開発できます。

画面は HTML で自由に開発できるため、市販の HTML 開発ツールを自由に使用して画面を作成することが可能です。アプリケーションに必要なメインロジックは RPG や COBOL のみで開発。新しい言語の習得は不要です。また、Web 画面との制御は JC/400 が自動生成するため、業務に必要なロジックに専念できます。

さらに、開発工数が他社ツールと比較し半減(※3)される優れた生産性により、開発費用を大幅削減することができます。

開発ライセンスは 200 万円。運用ライセンスは無料で提供されます。

開発ライセンスの購入により、ユーザー数無制限で Web システムが利用可能。開発会社様が JC/400 で開発したプログラムをエンドユーザー様に提供する際、運用ライセンスは無償提供いたします。

また、サブシステムはバッチモードで動作するため、IBM i には対話型 CPW 値は不要で、IBM i のダウンサイジングが可能になります。

※3 2009年10月28日現在 当社お客様事例によるもの

■開発者に嬉しいシンプルな開発手順

開発工数の削減は、シンプルな開発手順から生まれます。

以下の通常の RPG や COBOL プログラム開発と近いイメージで Web アプリケーションを開発します。

1. 画面の作成

HTML で制約の無い画面を自由に作成します。

2. 画面の連携

専用のツールを使用し、入出力項目のデータ型や桁数などを定義します。

Web 画面と連携するプログラムを自動生成します。

3. コーディング

業務ロジックを追加します。

4. メニュー登録・実行

IBM i 専用画面からユーザー単位で使用するプログラムを登録します。

新機能の Word・Excel・CSV 出力は、テンプレートを作成し、用意された API を呼び出すだけで実現が可能です。

【株式会社ミガロとは】

1991年、IBM AS/400の専門家集団として設立。IBMビジネスパートナーでありつつ、仏 System Objects の日本総代理店として「Delphi/400」や「JC/400」などの開発ツール・関連ソフトの販売と、そのツールを利用した業務アプリケーション開発を行っている。

現在、IBM i マニフェスト賛同企業としてお客様の企業価値を高める製品・サービス・ソリューションの提供を行っている。

【本件の連絡先】

株式会社ミガロ

RAD 事業部 技術支援課 ニュースリリース担当 岩田 真和

TEL: 06-6631-8601 FAX: 06-6631-8603

E-mail: info@migaro.co.jp URL: <http://www.migaro.co.jp/>

〒556-0017 大阪市浪速区湊町 2-1-57 難波サンケイビル 13F

以上